



平成26年6月17日

報道関係各位

飯田OIDE長姫高校・飯田市・松本大学 地域人教育 松本市街地フィールドワークの取材のお願い

初夏の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、松本大学と飯田市、飯田OIDE長姫高校は、2012年度より「飯田OIDE長姫高校地域人教育推進に関わるパートナーシップ協定」を締結し、3年間で7単位245時間の地域を学ぶカリキュラムを実施しています。地域人とは、「地域に愛着を持ち、地域を学び、地域に貢献する」人材をさし、リニア時代で市からの人口流出が起こることなく魅力ある地域づくりを支える人材の育成を目指しています。本学は地域を学ぶ基本的な講義をはじめ、フィールドワークや実践的な活動の支援等を行なっています。

このたび、この地域人教育の一環として、本年度はじめて松本市街地をフィールドに、地域の魅力を発見するフィールドワークを1年生対象に行なうことになりました。当日は、70名の高校生が大学生や松本市職員の指導の下、午前中松本市街地を3つのテーマ（バリアフリー、観光・景観、商業・まちづくり）に沿って歩き、調査を行ない、午後から松本大学でグループワークを行ってまとめます。今回のフィールドワークは松本市地域づくり課、松本市公民館、上土商店街振興組合の協力を得て行なうものです。

今回をきっかけとして飯田市と松本市の若者の交流や松本市における若者の活躍の可能性を探るきっかけになればと考えています。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、報道関係各社様を通して、地域の皆様に広くご紹介いただきたく、取材方よろしくお願いいたします。

敬具

記

日 時：平成26年6月19日(木)

9：30～15：30

場 所：松本城・市街地・松本大学他

内 容：高校生によるフィールドワーク（地域資源の調査）（別添資料参照）

参加者：飯田OIDE長姫高校商業科1年生70名 教員4名

松本大学学生 15名 松本市・上土商店街関係者他

以上